



Kumamoto City

## News Release

令和8年（2026年）6月11日

### （株）明電舎との「上下水道施設復旧に係る災害支援協定」締結式について 熊本地震から10年、官民連携で支える“災害に強い上下水道”

このたび、本市と株式会社 明電舎は、災害時に被災した本市上下水道施設の電気設備等の機能回復を図り、円滑かつ迅速な上下水道復旧支援体制を構築するため、「上下水道施設復旧に係る災害支援協定」を締結しますので、お知らせいたします。令和8年（2026年）熊本地震から10年がたちましたが、熊本地震の教訓を決して風化させることなく、激甚化・頻発化する災害に備え、官民連携のもと“災害に強い上下水道”の実現に向けた体制整備を進めてまいります。

#### 1 協定の概要 別紙のとおり

#### 2 締結式

日時 令和8年（2026年）6月18日（木）10時00分～10時15分

場所 熊本市上下水道局 本館6階 中会議室  
（熊本市中央区水前寺6丁目2-45）

出席者 株式会社 明電舎 専務執行役員 毛綿谷 聡  
熊本市上下水道事業管理者 三島 健一

次第  
（1）開式  
（2）出席者紹介  
（3）協定締結  
（4）代表者挨拶  
（5）閉式

#### 3 その他

- ・ 当日、駐車が必要な場合は、上下水道局駐車場をご利用ください。
- ・ 取材にお越しの際は、本館6階中会議室で報道受付をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 【お問い合わせ先】

上下水道局 総務部 総務課

電話：096-384-4142

課長：宮邊（みやべ）

# (株)明電舎との「上下水道施設復旧に係る災害支援協定」の概要

## < 目的 >

本協定は、災害時に被災した上下水道施設の電気設備等の機能回復を図り、本市と明電舎が円滑かつ迅速に連携・協力する上下水道復旧支援体制を整備し、市民生活に不可欠な上下水道の早期復旧を図る。

## < 支援内容 >

- 1 被災した電気設備等の被災状況調査
- 2 被災した電気設備等の応急復旧工事
- 3 応急復旧に必要な資機材及び人員の調達、供給
- 4 仮設の電気設備等の設置又は操作
- 5 その他上下水道施設の機能確保に必要な電気設備等に関する技術的支援

## < 背景 >

本市では、上下水道施設（水源地、浄化センター等）において、中央監視装置をはじめとする明電舎製の設備を運用している。

災害時においても施設の機能を迅速に復旧できるよう支援の枠組みを構築。

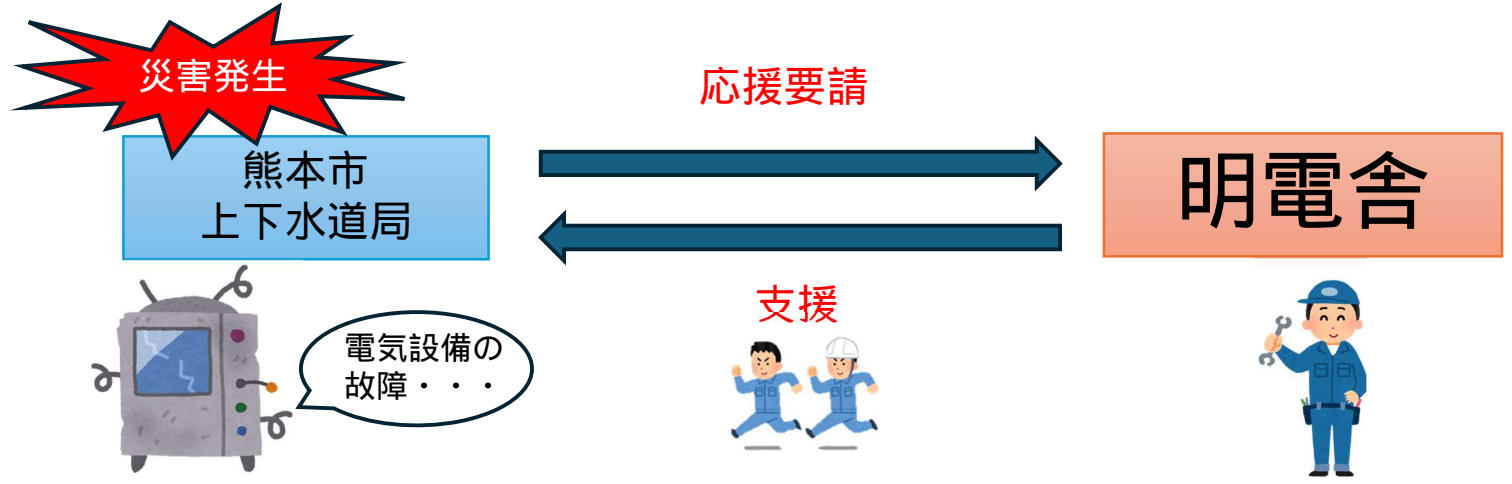
明電舎



- ・設備の保守
- ・点検

平時から安定的な上下水道事業の運営を担う

## < 支援イメージ >



激甚化・頻発化する災害に備え、上下水道施設の早期回復に向けた支援体制の一層の強化！

## < 協定対象施設 >

- 明電舎製の設備を運用している上水道6施設及び下水道13施設を選定する。
- 水道：麻生田水源地・山室水源地・健軍水源地・庄口水源地・沼山津水源地・託麻水源地
- 下水道：南部浄化センター・東部浄化センター・中部浄化センター・城南町浄化センター・平田ポンプ場・南高江ポンプ場・湖東ポンプ場・渡瀬ポンプ場・新花畑ポンプ場・花畑第2ポンプ場・本山ポンプ場・世安ポンプ場・新島崎ポンプ場

# 本協定の効果

## 【課題】

### < 災害発生時 >

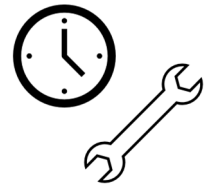
- 上下水道施設の機能停止が長期に及んだ場合、市民生活や衛生環境に大きな影響を及ぼすため、初動段階から早期復旧にむけた体制確保が必要。
- 大規模災害時には、複数の自治体や事業者から同時に復旧支援の要請が発生し、技術者や資機材の確保が競合することが想定されるため、本市の復旧に必要な技術者等の確保が課題となる。
- 災害時には、被害調査、応急対応、復旧調整、住民対応など多岐にわたる業務を同時並行で実施する必要があり、行政内部の人員及び対応力には限界がある。

### < 災害復旧時 >

- 復旧作業にあたっては、設備の構造や運用状況をふまえた専門的判断が必要であり、当該設備に精通した事業者との連携が不可欠。

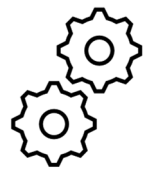
## 【本協定の効果】

< 効果 1 : 迅速な復旧体制の確保 >




- 災害時に専門業者の技術力・資機材を即時活用

< 効果 2 : 事前準備による効率化 >



- 平常時からの連携、備えを強化
- 緊急時の調達・派遣をスムーズに実施可能

< 効果 3 : 官民連携の強化 >



- 災害対応能力の底上げ
- 業務継続の実効性向上
- 地域のレジリエンス強化